



嚥下機能評価の方法

嚥下機能評価には簡易なものとして**反復唾液飲みテスト (RSST)** と**改訂水飲みテスト (MWST)** があります。

これらの評価は長期間絶食されていた方や食事中にムセが頻回にみられる方に対して、**嚥下機能を評価**するためのものです。

●反復唾液のみテスト (RSST)

方法・・・口腔内を湿らせた後に、空嚥下を30秒間繰り返す。

判定・・・30秒間で2回以下：嚥下開始困難、誤嚥の可能性あり。

意義・・・随意的な嚥下の繰り返し能力をみる。誤嚥との相関あり。

●改訂水飲みテスト (MWST)

方法・・・冷水3mlを嚥下させる。

* 咽頭に早期流入するのを防ぐ為、
口腔底に注ぎ嚥下させる。



判定

1点→嚥下なし、ムセる and/or 呼吸切迫

2点→嚥下あり、呼吸切迫 (silent aspiration: 不顕性誤嚥の疑い)

3点→嚥下あり、呼吸良好、ムセる and/or 湿性嚔声

4点→嚥下あり、呼吸良好、ムセなし

5点→「4」に加え、反復嚥下が30秒以内に2回可能

* 評価が4点以上の場合、合計3回繰り返し、最も悪い嚥下を評価する。

上記二つの評価で問題があった場合は、嚥下機能の低下が考えられます。

詳しくは、STまでご連絡ください！